

「セールスレップ」初委嘱

独在住の西岡氏に



県産業創出支援機構（ISICO）は4日、ジャパン・フーズ・インターナショナル取締役の西岡宏氏（59）にドイツ在住に、欧州での県産品の販売促進を目的に新設した「海外セールスレップ（代理人）」を委嘱した。県庁でISICO理事長の谷

委嘱状の交付を受ける西岡氏手前左

県庁

県産品の海外販路開拓へ意欲

本正憲知事から委嘱状を受け取った西岡氏は「石川の魅力の発信に頑張りたい」と意欲を語った。

西岡氏は県内の地酒や加工食品、工芸品を現地の企業に売り込むほか、欧州市場の開拓を目指す県内の企業に助言する。委嘱期間は来年8月31日まで。谷本知事は日本式の手法で、欧州など海外で伝統工芸品を売り込んでも効果が薄いと、「海外の販路開拓へ道案内役を務めてほしい」と激励した。

駐在経験の豊富な人材を自治体や企業に紹介する国際社会貢献センター（東京）が仲介した。



知事日誌

（4日）

【午前】9時50分、登庁後知事室。10時、韓国・全羅北道の崔政浩政務副知事。11時、海外セールスレップ西岡宏氏への委嘱状交付式。同氏が登録するNPO法人国際社会貢献センターの会員の平均年齢が70歳、最高齢が93歳と聞き、「高齢化社会をいい意味で象徴する組織とし

て、もっとPRせんなんね。だいたい日本は間違えてる。60歳で定年なんて早くやめなん。平均寿命が80歳で、100歳まで生きる時代なのに65歳から高齢者ってありえない。75歳から後期高齢者なんて呼び方もやめた方がいい。なんで変えないのか分からんわ」と高齢者の定義をめぐって持論を展開。
【午後】1時、全日空の稲田健也取締役執行役員マーケティング室長。7時5分、退庁。

北 國 新 聞 2018.09.05(朝)